

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：保育実習指導Ⅰ（保育所） 英語表記：Guidance for Practice I (Childcare) ナンバリング：2702		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名： 加藤房江、浅野瞳 担当形態：クラス分け
科目/系列		/保育実習	
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目		/保育実習指導Ⅰ	
【授業の到達目標及びテーマ】			
1. 保育実習の意義・目的を理解し、実習内容と実習の課題を明確にできる。 2. 子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等を理解できる。 3. 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について理解し、実習の総括や自己評価を通し、今後の学習に向けた課題や目標を明確にできる。			
【授業の概要】			
具体的な保育所の社会的役割をはじめ、保育者の役割、子どもの実態などについて理解し、実践的な力を身につける。また、実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容を理解し実習の総括や自己評価を通し、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			○
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
【授業計画】		【授業時間外の学習】	
第1回：オリエンテーション 保育実習の意義・目的、 作業スケジュールの理解P29		・実習関係の書類を揃え、実習先に関する情報を収集し整理する（毎回1～2時間程度）。	
第2回：子どもの人権と最善の利益と保育士の使命と役割 実習生調書作成1		・保育所保育指針を熟読し、ねらいの意味を理解する。	
第3回：プライバシーの保護と守秘義務 部分実習指導計画について、グループワーク決め		・保育技術の向上と教材研究と考察。	
第4回：実習の内容と部分実習指導計画1 グループワーク1・ディスカッション		・指導案を作成する。	
第5回：実習先へのオリエンテーションと実習生調書作成2		・日誌の記述方法を学ぶ。	
第6回：模擬保育と部分実習指導計画2 グループワーク2・ディスカッション		・季節の歌や場面に応じた曲のピアノレッスンを常に行う。	
第7回：実習関係の書類と実習日誌の記録1		・メディア等における保育関連記事に興味を持って、読み込む。	
第8回：実習の課題（配属クラスパターンによる課題設定）、 実習日誌の記録2、エピソード記録の書き方			
第9回：実習生としての心構え、実習日誌の記録3			
第10回：実習の計画・実践・観察・記録・評価			

部分実習指導計画3	
<p>第11回：お礼状の書き方、責任実習指導計画について</p> <p>第12回：実習における計画と実践1、実習日誌の記録4</p> <p>第13回：実習の総括、実習における観察、記録及び評価1</p> <p>第14回：実習評価の確認、保育実習Ⅱの評価票の確認と 実習課題</p> <p>第15回：事後指導における実習の総括と課題の明確化</p> <p>定期試験：なし</p>	
<p>【授業の方法】 テキストや参考資料を活用し、講義形式で行う。必要に応じて課題作成を行う。調書や指導計画等の提出物にチェックをし、返却してフィードバックする。</p>	
<p>【テキスト】 『実習の手引き』 埼玉純真短期大学</p>	
<p>【参考書・参考資料等】 実習日誌、適宜プリントを配布 『保育所保育指針』（最新版）『幼稚園教育要領』（最新版） 『幼保連携型認定こども園・教育保育要領』（最新版） 『マンガでわかる保育所保育指針』 浅井拓久也 著 中央法規。</p>	
<p>【学生に対する評価】 ルーブリック評価・授業参画度(50%)、制作物・レポートや課題の内容(50%)。</p>	
<p>【履修上の注意】 <u>保育実習Ⅰ（保育所）を必ず履修すること。課題の提出等は、必ず期限を守ること。</u> 本科目は、保育所実習のための授業であり、原則欠席をしないこと。やむをえず欠席する場合は、必ず欠席届を提出する。後日欠席した授業のレポートも提出すること。実習を通して何を学ぶのかを常に念頭におき積極的態で学習に臨むこと。</p>	
<p>実務経験の有無：有</p>	<p>実務経験： 加藤：元幼稚園教諭、元保育士、元主任保育士 浅野：元施設指導員、社会福祉士</p>
<p>【実務経験を生かした教育内容】 保育者としての経験を活かし、実習に必要な準備や実習生としての学ぶ態度、保育の実際について実践的に学べる授業を行う。</p>	